



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

第3期幡多地域アクションプランの進捗状況等について
平成30年度地域アクションプランの修正項目（案）

幡 多 地 域 本 部

平成30年9月6日（木）

幡多地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 8 . 3 1

幡多地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

幡多地域の地域アクションプラン（47事業）は、各種助成制度やアドバイザー制度、各種研修会などの活用を事業者に提案することにより、新商品づくりや、県版 HACCP の認証取得、新たな設備投資を進める事業者が出てきており、事業のレベルアップへの動きが加速している。また、それぞれの事業者による県内外での営業活動や地産外商公社等主催の商談会への出展などにより外商の動きにつながっている。

農業分野では、「ユズ」「直七」「ぶしゅかん」等の柑橘の作付面積の拡大やブランド化、青果や加工品の販売拡大を目指した、官民協働による取組を引き続き進めている。「ぶしゅかん」は、昨年より稼働を始めた加工拠点施設での県版 HACCP 認証の取得に取り組んでいる。畜産関係では、土佐清水市の長期肥育鶏「土佐極鶏あしずりキング」は、昨年、産業振興総合補助金を活用して整備した加工処理・保管施設が5月から稼働し始め、7月下旬からは関西方面に本格的な出荷を開始している。市では、7月末に新しくブランド推進組織を立ち上げ、今後、市内外への情報発信、販路拡大に取り組んでいく。

林業分野では、大月町の土佐備長炭の販路拡大が進んでおり、課題となっている原木の確保については、苗木の植樹に継続して取り組むほか、製炭の取組をより地域に知ってもらう啓発活動も検討されている。

水産分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「メジカ」「ブリ」「タイ」「キビナゴ」等の水産加工事業者を中心とした外商活動や、県外の飲食事業者との連携により、販路を拡大するとともに雇用の創出にもつながっている。さらに、地域の事業者や関係団体、行政が一丸となり、土佐清水市の「メジカ」や宿毛市、大月町の「養殖マグロ・ブリ・タイ」といった、地域の資源を活かした地域産業クラスターを目指す取組も継続して進めている。「メジカ」は、昨年の極端な不漁を脱し、平年並みの漁獲量に回復している。市では、宗田節を原材料とする新商品の開発を進めており、現在、試作品が完成し、今後、地元での製造と県外飲食店などと連携した宗田節のプロモーションや販売展開に取り組んでいく。

商工業分野では、四万十市の商店街関係者が連携し、中心商店街の遊休地を活用した拠点施設の整備に向けて取り組んでおり、中核となる飲食施設の企画づくりなどが進められている。

観光分野では、「幡多広域観光協議会」を核として、6市町村や観光関係団体の連携のもと、引き続き着地型の旅行商品や体験メニューづくり、旅行会社等へのプロモーション、海外からのインバウンド誘致の取組を展開していく。スポーツツーリズムは、新たに、集落活動センターと連携を進めるなど、受入を更に充実する取組を進めている。また、竜串観光プロジェクトでは、H32年度にオープンを予定している新足摺海洋館を始め、今後、順次、整備が予定されている各種施設の計画にあわせて、地域の事業者が連携した周遊の仕組みづくりに取り組むため、4月に観光クラスター推進協議会を設立し、地域の観光クラスター整備計画策定に向けた関係者の協議が進んでいる。

一方、7月の西日本豪雨の影響から、宿毛市や大月町の水産加工事業者に被害が出たほか、宿泊キャンセルなどで観光事業者への影響も出ており、事業の平常化に向け、継続的に支援を行っている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田蘭園 ・蘭遊六志会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (1~12月) <li style="padding-left: 20px;">H26 実績: 80,438 千円 →H29 目標: 100,000 千円 (実績: 61,449 千円) →H30 目標: 110,000 千円 →H31 目標: 165,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (H30.1~5月期): 32,799 千円 (前年比 135.1%) ○販路開拓と販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品 ○生産体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・海外拠点とのリレー出荷システムの構築に向けた取組 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益率アップに向けた更なるコスト削減策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒海外の生産拠点からの安定的な苗供給体制の確立 ・切り花出荷の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新たな取引先や個人ユーザーの獲得など販路の拡大 ・新たな取引先の獲得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県外でのフェアや商談会への参加に加え、ネットショップを活用、個人顧客獲得に向けた営業活動を展開
<p>■No.2 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有) 成田果樹園 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (8~7月) <li style="padding-left: 20px;">H27 実績: 44,179 千円 →H29 目標: 47,000 千円 <li style="padding-left: 20px;">(実績: 59,061 千円※H29.8~H30.6、前年同期比 118.7%) →H30 目標: 59,000 千円 →H31 目標: 65,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度を活用し、地元の農産物(柑橘など)を使った飲料を開発中 ○既存商品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培、減農薬栽培への継続的な取組 ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな市場開拓 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「シトラスビューティー」(柑橘等を利用した美容と健康の増進)のPR活動の実施及び商品購入に繋げていくための戦略づくり ⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進 ⇒産振アドバイザーを活用した新事業向け商品の開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)足摺農園 ・土佐清水市 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産羽数 H27実績：－ →H29目標：680羽(実績：0羽) →H30目標：2,400羽 →H31目標：3,000羽 ○加工出荷額 H27実績：－ →H29目標：2,620千円(実績：0円) →H30目標：10,872千円 →H31目標：17,436千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産羽数：雛の肥育を開始(H29.12月～) (月120羽程度(最寒気の2月を除く)) 本格出荷開始(7/24～) ○生産体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新加工処理施設の稼働開始(5/28～) ・協力農場(鹿児島県知覧市)による技術指導(7/11) ○流通体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・販売先(関西の卸事業者)の生産現場視察、販売協議(6/21) ・ブランド化に向けた関係機関による協議会設立(7/31) ・ブランド名商標登録申請(9月中旬(予定)) ・販売先が主催する飲食店向け商談イベントへの出展(9/19予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工処理体制の確立(衛生管理体制等) ⇒本格稼働する加工処理施設の円滑な運営支援 県版HACCP取得に向けた支援(セミナーへの誘導等) ・販路の確保 ⇒販売先等と連携した営業活動、商談会への出展 ・ブランド化の推進 ⇒ブランド化協議会でのプロモーション事業計画の検討 ⇒産振アドバイザー制度の活用(市民への普及、知名度のアップ)
<p>■No.4 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・四万十ぶしゅかん生産者組合 ・四万十ぶしゅかん(株) 	<p>[目標]</p> <p>(四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栽培面積(3月末時点) H27実績：490a →H29目標：1,020a(実績：977a) →H30目標：1,170a →H31目標：1,440a

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(四万十ぶしゅかん株)</p> <p>○生産量(4~3月 ※収穫期間は8~10月) H27実績: 18,700kg →H29目標: 31,500kg(実績: 23,380kg) →H30目標: 37,540kg →H31目標: 46,800kg</p> <p>[取組状況]</p> <p>○栽培面積(5月末): 977a(前年比100.0%)</p> <p>○生産量(5月末): 0kg(収穫時期未到来)</p> <p>○産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市苗木補助メニュー(ぶしゅかん産地化推進事業: 地方創生交付金)の活用(4月~) ・栽培基準検討会の開催(7/19) <p>○生産量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培状況の現地確認(4/17) ・生産者組合役員会(6/5)及び総会(6/8)の開催 <p>○展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売等の実施(5月末): 6回 ・商談会へ出展(5月末): 2回 ・ぶしゅかん解禁祭の実施(8/18) <p>○各種媒体でのPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビでの特集(4/9)、県内テレビCM(6/20~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の生産技術、ノウハウの習得 ⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施 ・100年ぶしゅかんブランドの確立 ⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上 ⇒出荷基準の徹底 ・販売戦略の構築 ⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立 ⇒商品コンセプトの再構築 ・ぶしゅかんの認知度の向上 ⇒地元の飲食店等での活用促進 ⇒メディアを活用したぶしゅかんのPRの継続実施 ・生産コストの削減、衛生管理体制の強化 ⇒集荷・選果・搾汁・保管機能を有した拠点施設の安定稼働 ⇒県版HACCP認証申請に向けた支援

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 三原村ユズ産地化計画の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 三原村農業公社 ・三原村 ・JA高知はた 	<p>[目標]</p> <p>(三原村農業公社) (JA 高知はた)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産量 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績 103 t →H29 目標 240 t (実績 : 128 t) →H30 目標 300t→H31 目標 495t ○販売金額 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績 16,738 千円 →H29 目標 50,000 千円 (実績 : 59,792 千円) →H30 目標 100,000 千円→H31 目標 129,388 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産量 : 0t (収穫時期未到達) ○販売金額 : 0 円 (収穫時期未到達) ○地域農業支援システムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農業公社を核とした農業支援システムづくりの検討 ユズ園地リースシステム協議 (5/1 7/4) ・ユズの栽培管理技術の向上 <ul style="list-style-type: none"> (1) 公社・研修生にむけて <ul style="list-style-type: none"> ① 公社 <ul style="list-style-type: none"> 剪定講習会 (4/25 8 人) 園地巡回指導 (4~6 月 3 回) 剪定指導 (5/25 3 人) ② 研修生 <ul style="list-style-type: none"> 巡回指導 (4/17 2 人) 篤農家訪問研修 (5/8 2 人) 剪定指導 (5/25 2 人) 新規就農者との合同勉強会 (7/20 2 人) (2) JA 柚子部会員にむけて <ul style="list-style-type: none"> 栽培講習 (5/18 32 人) 個別巡回 (4~6 月 3 回 3 人) ○青果出荷体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・選果施設利用協議 (6/22、8/6 12 名) ○基盤整備等 <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域所得向上支援事業における農地造成関連工事等発注(農道舗装工事 8 月、農地造成工事 10 月予定) ○新規就農者の経営安定(就農 5 年以下) <ul style="list-style-type: none"> ・整枝剪定・防除指導巡回 (4~6 月 8 回 のべ 20 人) ・経営指導巡回 (6/4 1 人) ・研修生との合同勉強会 (7/20 3 人)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○ユズ商品加工・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピール菓子(販売中)の販路開拓 バイヤーを通じて関東・東北・北海道方面にサンプル配布するなどPR中 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○ユズ共同選果施設運営体制の確立 ⇒選果員の人員確保・選果機効率アップ⇒</p>
<p>■No.7 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町備長炭生産組合 	<p>[目標]</p> <p>○販売量 H26実績:75.7t →H29目標:120t(実績:108.8t) →H30目標:120t →H31目標:200t</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売量(4~6月):30t(前年度比:104%)</p> <p>○生産力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産組合の定例総会の開催(事業計画等の協議)(5/14) ・クレーン車両(3t)導入 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○原木(ウバメガシ)の安定的な確保 ⇒山林の確保に向けた関係先との調整 ⇒長期的な視野に立った資源の造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウバメガシ搬出作業道の整備 ・ウバメガシの育苗場の整備(700㎡) <p>⇒製炭事業や山林資源の活用について地域に知ってもらう啓発活動の検討</p> <p>○生産の安定化と増産、品質の確保、販路拡大 ⇒生産性の向上を目指した意識づけ、知識・技術の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西や四国内の飲食店視察を検討
<p>■No.8 すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業(宿毛市・大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高 H26実績:1.04億円 →H29目標:1.1億円(実績:0.68億円) →H30目標:1.1億円 →H31目標:1.22億円</p> <p>○加工量(原魚ベース) H26実績:191.4t →H29目標:560t(実績:572t) →H30目標:560t →H31目標:400t</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~6月):14,763千円(前年同期比:92.1%)</p> <p>○加工量(原魚ベース)(4~6月):99t(前年同期比:98.0%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○すくもプロジェクト(ブリフィレ加工)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の加工について関係者協議(4/3, 5/24) →今年度加工目標: 14万尾 →加工尾数(4~6月): 29,940尾 ・省人力化及び作業効率化に向けた関係者協議(5/23, 6/14) →電気タモ及び自動メ機のデモ機導入の検討 →電気タモデモ機導入試験開始(7/19~) <p>○高知県版 HACCP の承認取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3ステージ取得(6/22) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくもプロジェクト(ブリ) →周年加工の実現に向け原魚確保や加工体制を調整 →電気タモデモ機導入試験結果の分析(8月中旬以降) →自動メ機は引き続きデモ機の導入を検討
<p>■No.9 すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p>H26実績: 37,553千円</p> <p>→H29目標: 40,600千円(実績: 34,158千円)</p> <p>→H30目標: 40,000千円 →H31目標: 50,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~6月): 8,294千円(前年同期比: 113.7%)</p> <p>○加工品のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市産業祭に出店(4/29) <p>○未利用魚の有効利用(サメ、アイゴ、ニベなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の基盤整備事業を活用したサメ肉の有効利用について関係者で協議(5/22) →新商品の開発委託や販売先の確立 ・その他魚価の低い魚介類の加工 →アイゴは水揚げが安定せず、安定的な加工が難しいが需要はあるのでこれからも加工に取り組む →ニベは魚価高騰のため加工断念 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品のPR →県内外のイベントへの出店 ・未利用魚の有効利用 →サメ肉は学校給食や飲食店を販売先に検討中

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)沖の島水産</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高(7~6月) H26実績:2.5億円 →H29目標:3.5億円(実績:4.3億円(H29.7~H30.5)) →H30目標:5.0億円 →H31目標: :6億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○商品開発と販売促進 ・県外の展示会・商談会及び催事への出展(4~6月:13件) ・産振アドバイザーの活用(HPリニューアル)</p> <p>○生産体制の充実、強化 ・県版HACCP認証取得に向けた取組を継続</p> <p>○その他の取組 ・スキューバダイビングのPR</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・自社レストラン以外の販路開拓 ⇒通信販売(ネット、DM)等の強化</p> <p>・衛生管理体制の充実 ⇒HACCP取得に向けた取組の強化に向けた社員教育の実施</p> <p>・漁労部門の周年雇用の確保 ⇒スキューバダイビング事業の充実、強化</p>
<p>■No. 11 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)勇進</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高(5~4月) H26実績:0円 →H29目標:1.26億円(実績:1.21億円) →H30目標:1.5億円 →H31目標: :2.56億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(5~6月):16,700千円(前年比128.5%)</p> <p>○販路拡大 ・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施 ・県内外の商談会への出展(4~6月:2件) ・取引先との調整及び取引交渉の促進(4~6月:13件) ・商人塾短期集中セミナーin幡多受講開始(6/28~)</p> <p>○生産体制の確立 ・社員教育実施の検討</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化 ⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進 ・衛生管理体制の確立 ⇒HACCP 取得に向けた社員教育の実施 ・生産体制の充実、強化 ⇒責任者の配置、人材育成の強化
<p>■No. 13 キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業（大月町）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・八重丸水産(株)</p> <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <p>○きびなごケンピ売上高（9～8月） H26 実績：25,950 千円 →H29 目標：27,500 千円（実績：26,675 千円） →H30 目標：28,500 千円 → H31 目標：29,820 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○きびなごケンピ売上高（H29.9月～H30.6月） : 17,990 千円（前年同期比 78.1%）</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きびなごケンピの製造、取引先への継続的な出荷 ・日曜市（太刀魚、ウツボ、イワシ等）での出店（毎週日曜日） ・県内外の商談会への出展 ・業務用筋への参入を目指した展示会視察 ・生産体制の拡充による販売拡大 <p>○市場ニーズに対応した新商品の開発・商品の改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品（イカのポン菓子）の改良及び販売 ・商品形態のバリエーション充実及び販売 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高利益率生産に向けた新商品の開発や既存商品の改良 ⇒新商品の開発や既存商品の磨き上げ、商品形態のバリエーションの充実 ・事業拡大へ向けた業務用筋への参入 ⇒業務用商品とするために必要な条件等の収集 ・経理等を含めた経営力のワンランクアップ ⇒販売管理システムの導入等による体制強化を含めた経営力の向上

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐大月海産 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(1~12月) H26実績:14,549千円 →H29目標:25,000千円(実績:26,486千円) →H30目標:30,000千円 → H31目標:33,000千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(1~6月):12,924千円 (前年同期比119.4%) ○販促営業、情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売 ・県内商社を通じた販路拡大及び販売促進 ・県内外のホテル業界への参入 ・通年用リーフレットの配布 ・お中元商品のDM発送、宣伝・販売(6~8月) ・県外商談会出展も視野に、高品質重視の百貨店等への販促活動を検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の充実強化 ⇒県版HACCP上級ステージを目指すための設備導入 ・利益アップに向けた新たな個人顧客の獲得 ⇒ネット販売の再構築、ふるさと納税を活用した販売促進への波及
<p>■No. 16 直七の生産、加工、販売の促進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産(株) ・直七の里(株) ・直七PJ(株) 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直七果実生産量(1~12月) H27実績:117t →H29目標:200t(実績:163t) →H30目標:200t →H31目標:200t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直七果実生産量:0t(収穫時期未到来) ○生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・苗木配布に伴う説明会(5/29) ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・県外の展示会・商談会の出展及び試食販売の開催(4~6月):4件 ・地元の葬祭業者の香典返しとして、直七セットが採用(4月) ・直七高付加価値化(広告宣伝)推進事業を活用し、海外への見本市に出展(4月) <p>今後は新聞、フリーペーパー等への広告出稿を予定</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原料（直七）供給の安定化 ⇒新規生産者の増加及び生産方針の教育の徹底、計画的な作付面積の拡大による原料供給の安定化
<p>■No. 17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)菱田ベーカリー 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 H26 実績：3,000 千円 →H29 目標：38,000 千円（実績：49,770 千円） →H30 目標：50,000 千円 →H31 目標：60,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（4～6月）：11,528 千円（前年比 96.6%） ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の主な商談会及び催事への出展（4～6月：3件） ○新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・経営革新等支援事業費補助金を活用（フードショー 2018(6/20～6/21) 参加）し、バイヤーとの意見交換を行ったことにより「大納言」のリニューアルの検討につながった <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊羹パンのさらなる認知度の向上 ⇒インターネットを活用した通販事業の強化 ⇒県内外の展示会、商談会の参加や営業活動による外商の取組の強化 ・保存用ラスクやその他の商品の販路拡大 ⇒官公庁、自主防災組織等への売り込み
<p>■No. 18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市 <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <p>（土佐食(株)＋(株)土佐清水元気プロジェクト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 H26 実績：17.92 億円 →H29 目標：22.1 億円（実績：18.39 億円）（2社合計） →H30 目標：19.8 億円（2社合計） →H31 目標：25 億円（2社合計） <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（4～5月）：507,786 千円（前年比 188.4%） ○経営戦略の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・産地入札会及び宗田節まつりを実施（4/14） ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会議（5/29） ・宗田節プロモーション会議での、新商品開発及びプロモーションに関する協議（6/4、7/30） 年内の新商品発表を予定

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○原魚確保、生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メジカ漁師の研修生の受入：2名 <p>○商品開発及び販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種商談会に土佐食と元気プロジェクトが共同で参加 ・宗田節ロードスタンプラリーの開催（10/31まで） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料となる原魚の確保 ⇒H29の極端な不漁と比べH30は平年並みであり、積極的に原魚を購入し原材料の安定を図る ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会を中心に、関係団体が連携してハード・ソフト事業を推進 ⇒メジカ関連産業に関する施設整備の円滑な推進 新商品の製造設備整備に向けた事業計画策定の支援 品質・うまみの独自基準づくり 市民向けプロモーションの展開の支援 「宗田節ロード」参画店舗の拡大勧誘の支援 ・衛生管理の強化 ⇒県版 HACCP 認証取得に向けた誘導 ・商品力の強化と販路拡大に向けた取組の強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開 ・土佐清水ホールデングス(株)を中心とした土佐食と元気プロジェクトの経営資源の再構築
<p>■No. 19 だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ウェルカムジョン万カンパニー <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <p>○販売額（1～12月）</p> <p>H26実績：47,600千円</p> <p>→H29目標：70,000千円（実績：88,076千円）</p> <p>→H30目標：80,000千円 →H31目標：70,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売額（1～5月）：31,998千円（前年比96.5%）</p> <p>○外商活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節まつりでの商品販売（4/14） ・にっぽん丸入港歓迎行事への出店（5/29） ・H30高知県産品商談会への出展（5/29）において、新商品発表（めんつゆボトル・スーパー向け） ・スーパーよさこい（表参道）へ出店（8/25～26） ・ギフトショー（東京ビックサイト）への出展（9/5～7） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな販路の開拓（めんつゆ、ポン酢） ⇒県外での商談会や催事等への参加 ⇒利益率の高いプライダル商品等に注力

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 生産機器及び商品包装のリニューアル ⇒県補助金の申請支援
<p>■No. 20 地域産品を活用した加工商品の開発 販売・流通システム構築推進事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐清水沸騰社中 土佐清水外商流通組合 土佐清水市 (株)郷土活性化組合 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ 産業クラスタープロジェクト及び宿毛・大 月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○流通システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> 清水さば活魚輸送及び店内いけす改善のための産振アド バイザー制度の活用(1回目(7/27)、計3回実施予定) ○地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> 宗田節新商品開発及びプロモーションに関する、ワール ドワン店舗での展開に関する協議(6/4) 土佐清水ワールド東京新橋店オープン(9/25 予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 流通システムの構築 ⇒生産者や加工事業者が事業推進に参加しやすい仕組 みづくり ⇒活魚輸送の効率化、輸送コストの削減等に向けた輸送 方法の検討 地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ⇒生産者や加工事業者との連携の仕組みづくり ⇒お客様のニーズに合った新商品の検討
<p>■No. 21 海洋資源を活かした遊漁等による体 験型交流推進事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐清水市 土佐清水市観光協会 民間事業者 漁業協同組合等 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ 産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来客数 H28 実績:300人 →H29 目標300人(実績1,060人) →H30 目標1,200人 →H31 人目標1,600人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来客数(4~7月):359人(前年同期比:72%) ○ポスト幕末維新博を見据えた、遊漁船業やその他体験観 光メニュー等の磨き上げと旅行商品化 <ul style="list-style-type: none"> 足摺釣りブリ組合と遊漁事業化(見学・体験)を協議 (5/14) 遊漁船業等の旅行商品開発支援業務を民間旅行会社に 委託(5/31 契約) →足摺釣りブリの旅行商品化に向けた取組を実施 (本年度中に、商品プラン策定、モニターツアー等 を実施予定) 足摺釣りブリ組合と遊漁事業及び旅行商品化に関する 課題について意見交換(6/21、7/27)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足摺釣りブリの旅行商品化 ⇒商品プラン案の作成、モニターツアーの実施 ・足摺釣りブリの遊漁事業化 ⇒遊業事業の整理（見学、釣りの実施）など
<p>■No. 22 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栗加工品製造量（6～5月） H26実績：4.0 t →H29目標：7.0 t（実績：5.4 t） →H30目標：7.0 t →H31目標：8.0 t ○原材料（生栗）仕入量（6～5月） H26実績：6.5 t →H29目標：11 t（実績：8.6 t） →H30目標：11 t →H31目標：12 t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品の高付加価値化と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP 認証の取得に向けた取組（7/20 第2ステージ取得） ・ 四万十市「おかみさん祭り」で焼き栗実演販売（4/20） ・ 高知市内の菓子店とのコラボ商品（ミレーサンド、タルト、キャラメル、チーズケーキ）を道の駅を中心に販売 ・ 商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講 ・ 新商品（栗のソフトクリーム）完成（7/18） ・ 原材料長期保存のための冷却設備導入協議（8/6） ・ 西土佐農商工連携検討会での栗仕入協議（8/9） ・ 商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講 ○栽培しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 市によるモデル栗園整備に向けた予定地の整地化（4月） ・ 農家定例会の開催（6/27） ・ 西土佐農商工連携検討会（8/9） ○地域の他素材を使った商品づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ ブルーベリー、梅、マルセイユメロンの下処理 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な栗の仕入れ ⇒市、JA 高知はたなど関係機関との連携強化（西土佐農商工連携検討会での定期的な協議など） ⇒モデル栗園の円滑な整備 ⇒栗栽培の先進地視察

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒集荷農家の増加に向けて、作業道整備や獣害対策網の設置等の実施</p> <p>⇒収穫時期の大学生や地域おこし協力隊等を活用した人手不足対策の検討</p> <p>・道の駅を中心とした販売促進、PR</p> <p>⇒売上拡大に向けた新商品開発(焼酎)</p> <p>・閑散期対策の検討</p> <p>⇒イタドリに関しては、地域内での栽培開始を見越した、加工・保管の体制づくり及び、大宮地区の栽培に関する情報収集、連携に向けた協議</p> <p>⇒イタドリに関しては、地域内での栽培開始を見越した、加工・保管の体制づくり及び、大宮地区の栽培に関する情報収集、連携に向けた協議</p> <p>⇒栗以外の製品の加工の検討</p>
<p>■No. 23 四万十牛の生産・販売拡大事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)四万十牛本舗</p> <p>・西土佐中央牧場</p>	<p>[目標]</p> <p>((株)四万十牛本舗)</p> <p>○売上高</p> <p>H26 実績：131,446 千円</p> <p>→H29 目標：180,000 千円 (実績：179,290 千円)</p> <p>→H30 目標：180,000 千円 →H31 目標：200,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売拡大と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内スーパー(サンプラザ)との精肉取引が6月から2倍に増加(半頭/月→1頭/月) ・旭食品との商談(5月) ・第7回チーム・シェフコンクールへのエントリー (9月予定) <p>○原材料供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育頭数の拡大 (6月末174頭→目標12月末200頭へ) ・西部家畜保健衛生所による主に生産面に関する随時支援 ・牧場従業員の1名雇用増(5月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育頭数の拡大 ・販売店舗・加工施設の移転拡大 <p>⇒事業計画整理に向けた支援</p> <p>⇒HACCP第3ステージ取得に向けた研修等への誘導</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化に向けた取組 ⇒ブランド化に向けた協議の場づくりの検討 商品開発や店舗のPR及び販促活動の強化 ・売上拡大に向けた道の駅を通じた加工品の販売促進 ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくりの支援 ⇒道の駅等での商品の売り方検討(BBQ等) ・人手不足(惣菜部門が2名不足) ⇒ハローワーク及び求人ネットの活用
<p>■No. 24 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 H26実績: 0円 →H29目標: 160,000千円(実績: 150,184千円) →H30目標: 150,000千円 →H31目標: 150,000千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(4~6月末): 45,035千円(前年同期比110.0%) ○地域ならではの商品づくり、販売活動 <ul style="list-style-type: none"> ・開業2周年イベント「よっておきゃく」の開催(4/8) ・運営会議の開催(4/9, 5/14, 6/11, 7/2, 8/6, 9/3) ・新商品(鮎のコンフィ)販売開始(4/29~) ・月次まつりの開催 (4/8 2周年祭、5/27 新たままつり、6/24 鮎まつり、7/29 夏のなりものまつり、8/12 41℃フェア夏の感謝祭、9/23 予定 くりかに合戦) ・ギフト商品の販売(7月中旬) <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発(米なすスモージー)(8/12) ・アツいまちサミットへの参加(6/2 東京) ・青森道の駅つるた 道の駅物産交流(6/23~24) ・ナスフェス(8/5) ・サイクルイベント「2リバービューライド」参画(9/9 予定) ・旭川食べマルシェ出店(9/15-17 予定) ・第72回全国レクリエーション大会(9/23 予定) ○周辺施設・商店街等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛奥伊予肉街道への参加(4/21~11/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の売上げの拡大 ⇒運営会議の継続的な開催(情報共有・改善点等への対応協議) ⇒新たな商品、メニュー等の開発及びそれにかかるアドバイザー派遣、設備導入への支援メニューの提案

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒集客アップのためのイベント等の開催</p> <p>⇒スタッフのスキルアップのため、商人塾・土佐 MBA の研修参加への誘導</p> <p>⇒外商支援のため、「まるごと高知」の活用提案</p> <p>・周辺整備の計画づくり</p> <p>⇒将来を見据えた整備計画の作成</p>
<p>■No. 25 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・しまんと百笑かんぱに(株)</p> <p>・四万十市地域商品研究会</p>	<p>[目標]</p> <p>(しまんと百笑かんぱに(株))</p> <p>○商品売上高</p> <p>H26 実績：30,000 千円</p> <p>→H29 目標：58,000 千円 (実績：47,970 千円)</p> <p>→H30 目標：70,060 千円 →H31 目標：83,371 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○商品売上高(4月末)：4,419 千円 (前年同期比 105.4%)</p> <p>○自社商品の開発強化</p> <p>・だしのドリップパックの試作 (高知県食品産業総合支援事業を活用)</p> <p>○生産体制の強化</p> <p>・パート従業員を1名増員(7月)</p> <p>○販売拠点整備と販路拡大</p> <p>・商談会への参加 3回(6月末) 4回(7~9月予定)</p> <p>・HACCP 研修への参加(8/22, 23 予定)</p> <p>・台湾高知県フェア(11月予定)の開催に向けた、地域の企業への呼びかけ(5/29)</p> <p>○四万十市地域商品研究会</p> <p>・市との実施計画及び予算の協議(2回)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・だし試作品の製造に必要な機器購入の補助申請の支援</p> <p>・商談会出店支援策の提案</p> <p>・新加工保管施設の安定稼働</p> <p>⇒県版 HACCP 第3ステージ認証取得に向けた支援</p> <p>・地域商品研究会の活動強化</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・WAN LIFE</p>	<p>[目標]</p> <p>○商品売上高（1～12月） H26実績：2,088千円 →H29目標：30,000千円（実績：15,601千円） →H30目標：30,000千円 →H31目標：10,352千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の事業者と連携した商品開発 四万十市：原木しいたけ 土佐清水市：宗田節 宿毛市：鯛、きびなご、シイラ 黒潮町：天日塩 その他県内：四万十鶏、はちきん地鶏、四万十ポーク、各種野菜 <p>○販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売への出店（4/21-22、5/12） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の増加 ⇒通販サイトのさらなる強化 ⇒主食商品の開発（商品ラインナップのさらなる充実） ⇒航空会社など企業向けの営業活動を強化 ・県産原材料の確保による新商品展開 ⇒原材料生産者の情報収集
<p>■No. 27 四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)LLPしまんと</p>	<p>[目標]</p> <p>○商品売上高（3～4月） H26実績：24,297千円 →H29目標：27,000千円（実績：25,000千円） →H30目標：30,000千円 →H31目標：37,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高（4月末）：3,340千円（前年同期比144.7%）</p> <p>○販路開拓及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売への出品（6/1） ・3社との新規取引を開始（5月末） ・県外食品会社等による産地視察への対応（7月末） ：3件 <p>○組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート従業員2名増員予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員確保（高知求人ネットの活用）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの縮減 ⇒生産の効率化に向けた設備導入の検討 ・売上の増加 ⇒PB・OEMの受注PRも含めた営業活動の展開
<p>■No. 28 素材の特性を活かした地域色豊かな 冷凍加工食品の開発・製造・販売事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》 ・(有)和</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(6～5月) H26実績：11,744千円 →H29目標：17,800千円(実績：24,632千円) →H30目標：20,000千円 →H31目標：23,852千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品売上高(4～5月)：6,176千円(前年比102.7%) ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の催事での実演販売の実施 11回 ・商談会への参加 1回 ・農商工連携事業として高幡地域の事業者と連携して開発した商品のOEM生産の継続及びPR ○商品開発及び改良 <ul style="list-style-type: none"> ・ケンボロー豚のパッケージやストーリーの検討 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・H30 商人塾幡多を受講(6/28～) ・土佐MBA 経営戦略概論を受講(6/1) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先の確保 ⇒商談会等への参加など継続的な外商活動の展開 ・生産拡大・効率化や衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版HACCPの取得に向けた取組の強化
<p>■No. 29 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》 ・四万十市 ・四万十にぎわい商店(株)</p>	<p>[目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○推進組織体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・取締役会(4/13、6/13、7/17) 取締役会での県支援制度の説明(7/17) ○事業効果を高める仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・四国経済産業局、中小機構四国との国事業活用に関する協議(4/23) ・商店街振興計画の策定の検討(6/15～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実効性の高い事業実施計画の策定 ⇒取締役会及び運営会の定例開催 ⇒拠点整備事業と整合性のある商店街振興計画の策定

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保 ⇒移住促進・人材確保センター等のチャンネルの活用提案 ・実施設計及び工事に係る財源の確実な確保
<p>■No. 30 大月町まるごと販売事業（拠点ビジネス）（大月町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一財）大月町ふるさと振興公社 <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 H26 実績：1.86 億円 →H29 目標：2.07 億円（実績：1.96 億円） →H30 目標：2.2 億円 →H31 目標：2.5 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（4～6月）：49,509 千円（前年同期比 98.5%） ○地場産品総合販売ビジネス（ファンづくり） <ul style="list-style-type: none"> ・おおつきふれあいマーケットの実施(毎月第3日曜日) ・集客アップに向けた各種イベントの実施 ・イベント等での出店 ・ギフトカタログ等での販売(夏:6～10月、冬:11月～) ・商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講(若手職員1名) ○町内事業者と連携した特産品開發生産ビジネス <ul style="list-style-type: none"> ・通年用の通販ビジネスの強化 ・HACCP 研修受講の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒将来を見据えた道の駅新戦略づくり ⇒SNS を活用した更なる情報発信の強化 ・カタログ、ネット販売やふるさと納税関連の企画販売等の強化 ⇒カタログ、ネット販売の再構築及びふるさと納税を活用した販売促進への波及 ⇒ネット通販の再構築でのアドバイザー活用の検討 ・既存施設の改修の検討 ⇒町と連携し課題を整理し、改築も含めた検討の実施
<p>■No. 31 三原村のどぶろくによる地域活性化事業（三原村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐三原どぶろく合同会社 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（6～5月） H27 目標：8,630 千円（実績：4,540 千円） →H29 目標：8,630 千円（実績：14,989 千円） →H30 目標：8,630 千円 →H31 目標：8,630 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（4～5月）：1,935 千円（前年同期比 121.9%） ○販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの出展 (ふれあい大マーケット (4/15)、天神橋おかみさんまつり (4/21)、宿毛市産業祭 (4/29)、三原村特産品フェア (7/14, 15)) ○組織体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・県版 HACCP 研修受講 (8/22, 23) ○広報・PR <ul style="list-style-type: none"> ・イベント出展時にパンフレット等配布 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の構築 ⇒情報発信力の強化、三原村へ来てどぶろくを飲んでもらえるような仕掛け、酒屋や料理店等との連携 ・新商品の開発・販売 ⇒季節限定商品や加工品等新たな商品の開発 ・販路の拡大 ⇒県外での PR 活動、商談会等への参加、集落活動センターとの連携 ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 取得に向けた各種セミナー等への参加 ⇒加工設備等の改修の検討
<p>■No. 32 地域産トマトの加工・販売の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ベストグロー 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (5~4月) H26 実績 : 32,850 千円 →H29 目標 : 45,000 千円 (実績 : 84,408 千円) →H30 目標 : 60,000 千円 →H31 目標 : 65,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (4月) : 8,615 千円 (前年同期比 94.9%) ○生産体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・IoT 導入に関する検討 (4/11) ・県版 HACCP 研修受講 (8/22, 23) ・県版 HACCP 取得に係るアドバイザーの現地確認 (9/28 予定) ○青果 <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町での生産、出荷 ○販売促進と商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・与力水産を通じたシンガポール事業者へのトマトピューレ等の紹介 (5/23) ・商談会参加 (県商談会 (5/29)、アグリフード EXPO 東京 (8/22, 23))

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演依頼対応 産業振興計画シンポジウム(6/1) GPEC 施設園芸・植物工場展(7/12)) ・イベントへの出展、出品 三原村特産品フェア(7/14, 15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の生産・販売体制の充実・強化 ⇒各種商談会への参加等による販路開拓 ⇒加工施設及び加工品保管施設の改修又は新設の検討 ・トマトピューレの販路拡大 ⇒トマトピューレの家庭用販売の検討 トマトピューレを活用した商品の開発検討 ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 取得に向けた各種セミナー等への参加
<p>■No. 33 天日海塩を活用したビジネス推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)ソルティープ 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(3~2月) H27実績: 12,000千円 →H29目標: 19,500千円(実績: 18,652千円) →H30目標: 20,000千円 →H31目標: 23,000千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(4~6月): 5,848千円(前年同期比118%) <ul style="list-style-type: none"> ・塩づくり体験の受入 ⇒体験受入(4~6月): 203人(前年同期比250.6%) ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・サントリー酒類(株)商談会(大阪)(5/8) ・関西居酒屋産業展(大阪)(5/15~17) ・高知県産品商談会(高知)(5/29) ・県外事業者(土佐里:東京都)産地視察対応(5/5) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の知名度アップとさらなる販路の拡大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・生産施設の拡充 ⇒結晶ハウスの増設及び関連施設の整備 (産振総合補助金活用検討) ・県内事業者等への天日塩の活用促進 ⇒県内事業者との連携強化による新たな商品の開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：118,658 千円 →H29 目標：204,824 千円（実績：213,570 千円） →H30 目標：209,945 千円 →H31 目標：209,945 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（4～6月）：59,786 千円（前年同期比 97.2%） <ul style="list-style-type: none"> ・4周年祭の実施（4/15） ・クロネコキャラバン参加（5/19） ・JAF イベント参加（6/10） ・和ソフト・文旦ソフト詰め合せ <ul style="list-style-type: none"> 明神水産お中元カタログ掲載（6月） ・和ソフト・文旦ソフトテイクアウトコーナー販売（7月） ○町内関連施設等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「カツオと鯉のぼりの川渡しフェスティバル」との連携（道の駅での紙のこいのぼり販売、フェスティバル会場での道の駅割引券配布、5/3） ・道の駅ビオスおおがたとの情報交換会（6/15）（開催予定・4回/年） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進のための魅力ある店舗づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒幡多地域の観光情報等発信機能の強化 ⇒地元事業者や関係機関との連携強化 ⇒商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用
<p>■No. 35 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（3～2月） <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：84,159 千円 →H29 目標：120,000 千円（実績：80,567 千円） →H30 目標：125,000 千円 →H31 目標：130,310 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（4～6月）：24,881 千円（前年同期比：94.6%） <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク、高知求人ネットへの求人掲載 ・外国人研修生（ベトナム）2名受入（9月） ・集落活動センター北郷よりバジルの購入始める（7月） ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋生協総会出席商品 PR（4/6） ・高松中小企業機構練習商談（4/24） まるごと日本、F&F 商談（5/16）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・風水プロジェクト商談 (5/14) ・京王永山ナチュラルランド商談 (5/14) ・生活舎商談 (5/15) ・四国中央市 貿易協会主催選定商談会 (5/22) ・BIO マーケット (大阪) 来社、工場見学、商談 ・ササビーリーグ (高知) 商談会 (6/14) ・食の魅力発見商談会 (6/19・20) <p>○衛生管理の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的衛生管理プログラム研修 (5/9) ・県版 HACCP 勉強会 (5/10・11) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先との取引強化及び新規取引先の開拓 ⇒主要取引先との連携強化による取引量の増大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・従業員教育の強化 ⇒県版 HACCP 第3ステージに基づく衛生管理手順の遵守及び社員教育の継続的な実施
<p>■No. 36 地域資源を活かした防災関連商品推進事業 (黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・(株)黒潮町缶詰製作所 	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p>H26 実績 : 0.13 億円</p> <p>→H29 目標 : 97,632 千円 (実績 : 68,514 千円)</p> <p>→H30 目標 : 90,000 千円 →H31 目標 : 1 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高 (4~6 月) : 30,471 千円 (前年同期比 169.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T シャツアート展出店 (5/3~6) ・はだしマラソン出店 (5/3) ・四万十うなぎひつまぶし 1 万 2 千缶納品 (5 月) <p>○商品開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛産イワシを活用した商品 (自社) ・岡山産カキを活用した商品 (OEM) <p>○県内外での PR 販売・営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯防災総合展出店 (大阪) (6/7~8) ・高知県食品表示研修会 (高知) (6/13) ・FOMA セミナー参加 (東京) (6/14) <p>○防災食品普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県栄養士ネットワーク参加 (四万十市) (6/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP の取得に向けた取組の強化 (他商品) ⇒継続的な社員教育の実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外への販売促進強化 ⇒備蓄用、グルメごとにターゲットを絞った販路開拓 ・地域資源を活用した商品開発 ⇒地域内の事業者との連携強化
<p>■No. 37 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト（幡多地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）幡多広域観光協議会 <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト、土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込客数（1～12月） H26実績：1,274,622人 →H29目標：1,296,000人（実績：1,193,000人） →H30目標：1,296,000人 →H31目標：1,296,000人 <p>[取組状況]</p> <p>教育旅行受入（4～5月）：5校、381人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品造成・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・「土佐の観光創生塾」への参加 ○誘客促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・一般旅行：高知県観光説明会（5/17福岡、5/29名古屋、6/27広島、6/28岡山） 維新博商談会（高知・4/18） 〃 モニターツアー（4/19～20） 旅行会社視察受入（5/22～23） ・教育旅行：教育旅行セールス（6/18～19） 訪日教育旅行現地説明会（台湾・6/20～22） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光につなげる旅行商品づくり ⇒「土佐の観光創生塾」の参加関係団体等と連携した周遊観光商品づくり ・誘致促進に向けた取組 ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続 ⇒愛媛県南予地域と連携したPR活動の展開やインターネット広告等を活用した誘客促進PRの展開 ・関係団体と連携した組織強化 ⇒多様な関係者と連携し、日本版DMO候補法人登録を活かした観光地づくり

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト (幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 幡多広域観光協議会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込客数 H26 実績：4,600 人 →H29 目標：11,000 人 (実績：11,821 人) →H30 目標：12,800 人 →H31 目標：8,470 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込客数：(4～7 月) 2,556 人 ○地域の受入体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・受入関係者勉強会 (弁当関係 5/30、宿泊関係 6/28) ○広域連携による取組の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町スポーツツーリズム推進会議 (4/17) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝も含めた施設等の PR 促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進 ・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の体制の充実 ⇒受入体制充実に向けた各市町村との連携強化 ・観光コンベンションや各種競技団体など関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続 ・地域の受入体制づくり ⇒新たな集落活動センターとの連携
<p>■No. 40 竜串地域観光再生プロジェクト (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・(一社) 土佐清水市観光協会 ・NPO 竜串観光振興会 ・竜串自然再生協議会 	<p>[目標]</p> <p>(土佐清水市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込客数 (1～12 月) H26 実績：9.5 万人 →H29 目標：106,250 人 (実績：94,539 人) →H30 目標：11 万人 →H31 目標：12.5 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○竜串地域の観光クラスター形成に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・竜串海洋観光クラスター協議会 (4/9、5/9、7/4) ○竜串地域との連携体制づくり (協議会等で協議) <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社用竜串観光案内パンフレットの作成 ・体験型観光プログラムづくり ・各種ツアー、イベントの受入 ・竜串再開発に関する行政連絡会 (6/4) ○スノーピークを核としたアウトドア施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・爪白キャンプ場整備 (建築工事) 工事着手 (7 月～) ・県観光拠点等整備事業費補助金を活用した県内外キャンプ場での P R

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(9月～、4か所(大分2か所、新潟、越知町)で実施予定)</p> <p>モニターツアー及びジオガイド養成</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を巻き込んだキャンプ場運営に向けた推進体制構築 ⇒定期的な地元説明会の開催による情報提供 ⇒イベント開催等による地元住民との協働の仕組みづくり ・体験型プログラムづくりに向けた体験メニューのブラッシュアップ、人材育成(土佐の観光創生塾の活用等) ⇒地域住民を巻き込んだ体験型プログラムの造成 ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成
<p>■No. 42 土佐清水ジオパーク推進事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水ジオパーク推進協議会 	<p>[目標]</p> <p>(土佐清水市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ジオパークガイド登録者数(3月末時点) H26実績:0人 →H29目標:20人(実績:21人) →H30目標:25人 →H31目標:30人 ○ジオツアー年間参加者数 H26実績:0人 →H29目標:360人(実績:134人) →H30目標:500人 →H31目標:1,000人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進協議会総会(4/6)の開催 ・日本ジオパーク新規加盟申請プレゼンテーション(5/19) →1次審査通過→現地調査(7/11～13) ・関係機関打ち合わせ(5/24) ・協議会役員会(5/31) ・協議会臨時総会(6/8) ・総力戦会議(6/8、14、21、28) ・模擬現地審査(7/5) ・県観光拠点等整備事業費補助金申請(8月) モニターツアー及びジオガイド養成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定に向けた取組 ⇒9/20に日本ジオパークネットワーク委員会で認定の可否が決定 ・推進体制の強化 ⇒継続した取組ができる体制の確立

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 47 集落活動センターによる地域の産業振興 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 三原村集落活動センターやまびこ ・農事組合法人三原やまびこ 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 <ul style="list-style-type: none"> H28 実績：6,350 千円 →H29 目標：－ (実績：20,775 千円) →H30 目標：20,000 千円 →H31 目標：21,000 千円 ○体験プログラム利用者数 (4～3月) <ul style="list-style-type: none"> H28 実績：0 人 →H29 目標：－ →H30 目標：0 人→H31 目標：50 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (4～6月)：4,177 千円 (前年実績なし) ○体験プログラム利用者数：0 名 (前年実績なし) ○販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講 (若手職員 1 名) ・土佐 MBA 商人塾参加 (第 1 回、第 2 回) ・酒類販売免許申請準備 ・三原村特産品フェアの開催 (7/14, 15) ○交流人口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・観光部会立ち上げ (4/1) ・土佐の観光創生塾 (基礎編) 参加 (6/20、7/18) ・農泊作業部会及び農泊推進協議会への参加 ・先進地視察 (越知町&佐川町 (6/20)) ・移住者交流会の開催 (6/24) ・村内イベントの開催 (ビアホール (7/21)) ○1次産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ししとうの収穫開始 (5月～) ・食味計導入の準備 ・おいしい米づくりの試験栽培の開始 (4月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の構築 ⇒土佐商人塾への参加、村内各事業者との連携、カフェの継続的な運営体制づくり ・新商品の開発・販売 ⇒新たな村の特産品となり得る商品の開発・磨き上げ ・体験プログラム利用者確保に向けた体験メニューの掘り起こし、人材 (ガイド等) の育成 ⇒土佐の観光創生塾への参加、観光部会での協議

2 平成 30 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）
該当なし

3 地域アクションプランの追加・修正・削除（予定）項目

[修正] ■No. 17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業（宿毛市）

（理由）衛生管理の強化および生産効率の向上に向けた施設の整備を計画に追加

■No. 18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト（土佐清水市）

（理由）新商品製造設備の整備を計画に追加

■No. 23 四万十牛の生産・販売拡大事業（四万十市）

（理由）販売店舗・加工施設の整備を計画に追加

■No. 33 天日海塩を活用したビジネス推進事業（黒潮町）

（理由）結晶ハウス整備及び関連施設の整備を計画に追加

4 県民参画に向けた取組

・幡多信用金庫との包括協定協議会で第 3 期計画 ver. 3 の説明（6/7）

・幡多信用金庫との情報共有会議（8/24）

5 相談案件：3 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/20	農業分野	米卸販売事業者から、地域アクションプラン加入に関する相談
2	5/28	農業分野	ファインバブルを活用した柑橘類の栽培について
3	6/7	水産加工	新たな魚種の加工品作りについての相談


修正項目(案)

【幡多地域】



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業 《宿毛市》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">修正前</div>	昭和40年代から製造し、地元で愛されている「羊羹パン」など昭和レトロをコンセプトとした商品の販売を拡大し、全国に展開していくことで、独自ブランドを確立するとともに、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。	・(有)菱田ペーカリー	アクションプランの取組開始:H28 ・産振総合補助金(ステップアップ事業)を活用し、首都圏駅ナカでテストマーケティングを実施(H28) ・県産業振興アドバイザー制度を活用し、マスメディアを活かした販売戦略について検討(H28) ・ものづくり競争力強化支援事業費助成金(高知県産業振興センター)を活用し、プレハブ冷凍庫を導入(H28) ・県外出展等販促活動(H28～) ・新商品開発(H28～) ・県版HACCP第2ステージの認証取得(H29) ・従業員を対象としたHACCP講習会を開催(H29)	・商品の認知度の向上 ・販路の拡大	◆販路拡大 ◆新商品の開発



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業 《宿毛市》 <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">修正後</div>	昭和40年代から製造し、地元で愛されている「羊羹パン」など昭和レトロをコンセプトとした商品の販売を拡大し、全国に展開していくことで、独自ブランドを確立するとともに、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。	・(有)菱田ペーカリー	アクションプランの取組開始:H28 ・産振総合補助金(ステップアップ事業)を活用し、首都圏駅ナカでテストマーケティングを実施(H28) ・県産業振興アドバイザー制度を活用し、マスメディアを活かした販売戦略について検討(H28) ・ものづくり競争力強化支援事業費助成金(高知県産業振興センター)を活用し、プレハブ冷凍庫を導入(H28) ・県外出展等販促活動(H28～) ・新商品開発(H28～) ・県版HACCP第2ステージの認証取得(H29) ・従業員を対象としたHACCP講習会を開催(H29)	・商品の認知度の向上 ・販路の拡大 ・生産体制及び衛生管理の強化	◆販路拡大 ◆新商品の開発

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大						売上高 (H26:3,000千円)	60,000千円
商談会等への参加、県外での店頭販売							
					自社サイトによるインターネット販売の開始・拡大		
							
新商品の開発							
アドバイザーの導入	昭和レトロをコンセプトにした新商品の開発						
羊羹パン等の商品改良							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大							60,000千円
商談会等への参加、県外での店頭販売							
					自社サイトによるインターネット販売の開始・拡大		
					衛生管理の強化および生産効率の向上に向けた施設整備の検討		
					施設整備		
							
新商品の開発							
アドバイザーの導入	昭和レトロをコンセプトにした新商品の開発						
羊羹パン等の商品改良							

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト</p> <p>《土佐清水市》</p> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。</p>	<p>・土佐清水ホールディングス(株)</p> <p>・土佐食(株)</p> <p>・(株)土佐清水元気プロジェクト</p> <p>・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会</p> <p>・土佐清水市</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 [土佐食(株)]</p> <p>・水産物処理加工施設用機器導入(H22)</p> <p>◆H22産業振興総合補助金を活用し、機器等を導入したことで、ペットフード安全法改正に適応でき、かつ新商品開発も可能となった。</p> <p>◆H25~26実績で、原魚取扱量(3,500t)及び売上高(16.8億円)ともにH27目標値を上回っており、雇用についても197人と、H27目標値をほぼ達成し、地域の産業振興に大きく貢献している。</p> <p>・食品部門の販路販売拡大のための、アジア圏をターゲットとした市場調査</p> <p>・道の駅「めじかの里土佐清水」の指定管理者(H26.7.1~H29.3.31)となり、H26.7.19にリニューアルオープン。</p> <p>[(株)土佐清水元気プロジェクト]</p> <p>・集出荷システムの構築及び関連施設整備(H21)</p> <p>◆H21産業振興総合補助金を活用し、農産物の集出荷システムを構築。農業者の所得向上や、水産物の冷凍事業により漁業者の所得向上にもつながっている。</p> <p>・特産品開発及び流通販売システムの構築(H21~)</p> <p>◆約30種類の商品を販売。H25には『土佐の清水さば漁師漬け』が、H27には『宗田だし小夏ノンオイルドレッシング』が展示会等で評価を受けるなど、宗田節関連商品が順調に売上を伸ばしている。</p> <p>・OEM生産事業の取組(H24~)</p> <p>◆高知県産業振興センター所管助成事業を活用し、体制づくり及び商品開発。OEM生産が地域貢献(地域内事業者の商品開発・販路拡大の手助け)につながっている。</p> <p>・一次加工体制の構築(H26~)</p> <p>◆県漁協が整備した一次加工施設の運営を開始。未利用資源・低価格魚を冷凍事業との連携(既存施設の有効活用)により、一次加工品として販売し、売上増、雇用創出につながっている。</p> <p>[宗田節をもっと知ってもらいたい委員会]</p> <p>・宗田節PRの推進組織「宗田節をもっと知ってもらいたい委員会」設立(H22)</p> <p>◆積極的なPRにより、宗田節の認知度が一定向上した。</p> <p>・一般消費者向け宗田節新製品を開発(H23~24:7商品開発)</p> <p>◆継続した商談会への参加により売上が順調に推移している。(新商品売上高 H24:8,870千円→H25:18,360千円→H26:24,950千円)</p> <p>【土佐清水ホールディングス(株)】</p> <p>・土佐清水メジカプロジェクト推進協議会の設立(H29)</p>	<p>・土佐清水全体でのメジカ関連産業の事業化に向けた仕組みづくり</p> <p>[土佐食(株)]</p> <p>・ペットフード以外の商品販売促進</p> <p>・施設の老朽化対策</p> <p>[(株)土佐清水元気プロジェクト]</p> <p>・原料の確保及び生産効率の向上(生産量の拡大)</p> <p>・OEM生産事業、一次加工事業の強化</p> <p>・売れ筋商品の販売拡大</p> <p>・流通販売システムの強化と受入態勢の構築</p> <p>[宗田節をもっと知ってもらいたい委員会]</p> <p>・宗田節のさらなる認知度の向上</p>	<p>◆経営戦略の策定 [土佐清水ホールディングス(株)]</p> <p>◆商品開発及び販促活動</p> <p>◆水産物処理加工関連施設等整備 [(株)土佐清水元気プロジェクト]</p> <p>◆農産物等処理加工関連施設等整備</p> <p>◆新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化</p> <p>◆販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化</p> <p>◆宗田節のPR活動、ブランド化の推進 [宗田節をもっと知ってもらいたい委員会]</p>

修正前



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
経営戦略の策定				→	販売額 (H22:14.78億円) (H26:17.92億円)	25億円
経営戦略策定に向けた経営資源の選択、戦略の策定及び見直し						
商品開発及び販促活動				→		
商品開発、販促活動(各種商談会等への参加。土佐食糧、㈱土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による商品PR及び営業活動など)						
商品開発に必要な施設整備の検討・実施						
水産物処理加工関連施設等整備				→		
水産物処理加工関連施設及び機器導入の検討・実施						
農産物等処理加工関連施設等整備				→		
必要施設の整備検討・実施						
新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化				→		
商品開発、ブランド登録など						
商品開発に必要な施設整備の検討・実施						
OEM生産事業・一次加工事業の販路開拓・販売促進						
販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化				→		
<ul style="list-style-type: none"> ・海外見本市や各種商談会等への参加、商品PR及び営業活動など ・県アンテナショップ等を活用したマーケティング調査など ・土佐食糧、㈱土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市と連携した販売促進 ・提携業者との連携による経営戦略の検討 						
流通販売システムの強化及び受入態勢の構築						
宗田節のPR活動、ブランド化の推進				→		
食育活動や外商活動の継続した実施						
土佐食糧、㈱土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による県内外への宗田節PR活動の展開、プロモーション活動との連携						



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト</p> <p>《土佐清水市》</p> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。</p>	<p>・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元氣プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 [土佐食(株)] ・水産物処理加工施設用機器導入(H22) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、機器等を導入したことで、ペットフード安全法改正に適応でき、かつ新商品開発も可能となった。 ◆H25～26実績で、原魚取扱量(3,500t)及び売上高(16.8億円)ともにH27目標値を上回っており、雇用についても197人と、H27目標値をほぼ達成し、地域の産業振興に大きく貢献している。 ・食品部門の販路販売拡大のための、アジア圏をターゲットとした市場調査 ・道の駅「めじかの里土佐清水」の指定管理者(H26.7.1～H29.3.31)となり、H26.7.19にリニューアルオープン。 [(株)土佐清水元氣プロジェクト] ・集出荷システムの構築及び関連施設整備(H21) ◆H21産業振興総合補助金を活用し、農産物の集出荷システムを構築。農業者の所得向上や、水産物の冷凍事業により漁業者の所得向上にもつながっている。 ・特産品開発及び流通販売システムの構築(H21～) ◆約30種類の商品を取扱。H25には『土佐の清水さば漁師漬け』が、H27には『宗田だし小夏ノンオイルドレッシング』が展示会等で評価を受けるなど、宗田節関連商品が順調に売上を伸ばしている。 ・OEM生産事業の取組(H24～) ◆高知県産業振興センター所管助成事業を活用し、体制づくり及び商品開発。OEM生産が地域貢献(地域内事業者の商品開発・販路拡大の手助け)につながっている。 ・一次加工体制の構築(H26～) ◆県漁協が整備した一次加工施設の運営を開始。未利用資源・低価格魚を冷凍事業との連携(既存施設の有効活用)により、一次加工品として販売し、売上増、雇用創出につながっている。 [宗田節をもっと知ってもらいたい委員会] ・宗田節PRの推進組織「宗田節をもっと知ってもらいたい委員会」設立(H22) ◆積極的なPRにより、宗田節の認知度が一定向上した。 ・一般消費者向け宗田節新製品を開発(H23～24:7商品開発) ◆継続した商談会への参加により売上が順調に推移している。(新商品売上高 H24:8,870千円→H25:18,360千円→H26:24,950千円) [土佐清水ホールディングス(株)] ・土佐清水メジカプロジェクト推進協議会の設立(H29)</p>	<p>・土佐清水全体でのメジカ関連産業の事業化に向けた仕組みづくり [土佐食(株)] ・ペットフード以外の商品販売促進 ・施設の老朽化対策 [(株)土佐清水元氣プロジェクト] ・原料の確保及び生産効率の向上(生産量の拡大) ・OEM生産事業、一次加工事業の強化 ・売れ筋商品の販売拡大 ・流通販売システムの強化と受入態勢の構築 [宗田節をもっと知ってもらいたい委員会] ・宗田節のさらなる認知度の向上</p>	<p>◆経営戦略の策定 [土佐清水ホールディングス(株)]</p> <p>◆商品開発及び販促活動</p> <p>◆水産物処理加工関連施設等整備 [(株)土佐清水元氣プロジェクト]</p> <p>◆農産物等処理加工関連施設等整備</p> <p>◆新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化</p> <p>◆販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化</p> <p>◆宗田節のPR活動、ブランド化の推進 [宗田節をもっと知ってもらいたい委員会]</p>

修正後

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
<p>経営戦略の策定</p> <p>経営戦略策定に向けた経営資源の選択、戦略の策定及び見直し</p>					<p>販売額 (H22:14.78億円) (H26:17.92億円)</p>	<p>25億円</p>
<p>商品開発及び販促活動</p> <p>商品開発、販促活動(各種商談会等への参加。土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による商品PR及び営業活動など)</p> <p>商品開発に必要な施設整備の検討・実施</p>						
<p>水産物処理加工関連施設等整備</p> <p>水産物処理加工関連施設及び機器導入の検討・実施</p> <p>宗田節新商品製造設備整備計画の検討</p> <p>施設整備</p>						
<p>農産物等処理加工関連施設等整備</p> <p>必要施設の整備検討・実施</p>						
<p>新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化</p> <p>商品開発、ブランド登録など</p> <p>商品開発に必要な施設整備の検討・実施</p> <p>OEM生産事業・一次加工事業の販路開拓・販売促進</p>						
<p>販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化</p> <p>・海外見本市や各種商談会等への参加、商品PR及び営業活動など ・県アンテナショップ等を活用したマーケティング調査など ・土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市と連携した販売促進 ・提携業者との連携による経営戦略の検討</p> <p>流通販売システムの強化及び受入態勢の構築</p>						
<p>宗田節のPR活動、ブランド化の推進</p> <p>食育活動や外商活動の継続した実施</p> <p>土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による県内外への宗田節PR活動の展開、プロモーション活動との連携</p>						

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 四万十牛の生産・販売拡大事業 《四万十市》	西土佐地域の畜産家、販売・加工業者が生産から販売まで連携して販路拡大に取り組むことで、四万十牛の地域内外での認知度・売上の向上による地域経済の活性化を図る。	・(株)四万十牛本舗 ・西土佐中央牧場	アクションプランの取組開始：H25 ・新たなビジネスの検討(H25～27) ◆H25全国商工会連合会事業、H26県産業振興アドバイザーを活用し、ブランド力を活かした経営戦略について検討。H27.3月直営飲食店(焼肉屋)を開業、H27.6月法人化。 ・新商品開発(H23～) ◆H23全国商工会連合会事業を活用し、商品開発のノウハウを習得。 ・H28道の駅よって西土佐と連携した商品展開(食堂メニュー及び惣菜・弁当の販売) ・畜産体制強化(H24～) ◆H24に自己資金で、H27に県レンタル畜舎施設等整備事業を活用して生産量の拡大に向けた畜舎増築を実施し、生産拡大の体制が整った。	・販売額のアップ ・生産量の拡大	◆販路拡大及び新商品開発 ◆原材料供給体制の強化

修正前



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 四万十牛の生産・販売拡大事業 《四万十市》	西土佐地域の畜産家、販売・加工業者が生産から販売まで連携して販路拡大に取り組むことで、四万十牛の地域内外での認知度・売上の向上による地域経済の活性化を図る。	・(株)四万十牛本舗 ・西土佐中央牧場	アクションプランの取組開始：H25 ・新たなビジネスの検討(H25～27) ◆H25全国商工会連合会事業、H26県産業振興アドバイザーを活用し、ブランド力を活かした経営戦略について検討。H27.3月直営飲食店(焼肉屋)を開業、H27.6月法人化。 ・新商品開発(H23～) ◆H23全国商工会連合会事業を活用し、商品開発のノウハウを習得。 ・H28道の駅よって西土佐と連携した商品展開(食堂メニュー及び惣菜・弁当の販売) ・畜産体制強化(H24～) ◆H24に自己資金で、H27に県レンタル畜舎施設等整備事業を活用して生産量の拡大に向けた畜舎増築を実施し、生産拡大の体制が整った。	・販売額のアップ ・生産量の拡大	◆販路拡大及び新商品開発 ◆原材料供給体制の強化

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大及び新商品開発					売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
県内外への販促活動							
精肉店・飲食店の売上拡大							
商品開発							
原材料供給体制の強化					売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
生産量の拡大							
安定した生産の継続							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大及び新商品開発					売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
県内外への販促活動							
精肉店・飲食店の売上拡大							
商品開発							
		新販売店舗及び加工施設の整備計画検討		施設整備	売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
原材料供給体制の強化							
生産量の拡大							
安定した生産の継続							

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
33 天日海塩を活用したビジネス推進事業 《黒潮町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正前</div>	黒潮町の特産品づくりの取り組みとして推進する『さしすせそ』計画の中心的な役割を担う天日海塩の増産体制を整備し、加工品の増産や新たな商品の開発を行うとともに、塩に関連した観光体験事業を強化、充実させることで、黒潮町の新たな地域ビジネスを確立し、他事業者と連携を図りながら、地域の所得向上につなげる。	・(有)ソルティーブ	アクションプランの取組開始:H28 ・製塩施設を整備(H28)	・販路の拡大	◆生産施設の拡大 ◆体験施設の整備 ◆販路開拓・販売促進 ◆担い手対策



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
33 天日海塩を活用したビジネス推進事業 《黒潮町》 <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正後</div>	黒潮町の特産品づくりの取り組みとして推進する『さしすせそ』計画の中心的な役割を担う天日海塩の増産体制を整備し、加工品の増産や新たな商品の開発を行うとともに、塩に関連した観光体験事業を強化、充実させることで、黒潮町の新たな地域ビジネスを確立し、他事業者と連携を図りながら、地域の所得向上につなげる。	・(有)ソルティーブ	アクションプランの取組開始:H28 ・製塩施設を整備(H28)	・販路の拡大 ・ <u>生産施設の増設</u>	◆生産施設の拡大 ◆体験施設の整備 ◆販路開拓・販売促進 ◆担い手対策

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						売上高 (H27:12,000千円)	23,000千円
生産施設の拡大 製塩施設整備	結晶ハウス整備検討	結晶ハウス整備					
	体験施設の整備 体験施設の整備検討	<ul style="list-style-type: none"> ・体験専用の結晶ハウス整備 ・雨天時対策及びバリアフリー化 					
販路開拓・販売促進							
各種商談会への参加							
連携事業者との協働による商品開発							
パンフレット及びポスターの作成	ホームページの作成						
担い手対策							
製塩作業を実践しながら人材(担い手)の育成							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						売上高 (H27:12,000千円)	23,000千円
生産施設の拡大 製塩施設整備	結晶ハウス整備検討	結晶ハウス及び関連施設整備					
	体験施設の整備 体験施設の整備検討	<ul style="list-style-type: none"> ・体験専用の結晶ハウス整備 ・雨天時対策及びバリアフリー化 					
販路開拓・販売促進							
各種商談会への参加							
連携事業者との協働による商品開発							
パンフレット及びポスターの作成	ホームページの作成						
担い手対策							
製塩作業を実践しながら人材(担い手)の育成							